

○事業所名	あこおる		
○保護者評価実施期間	令和6年11月18日 ~ 令和6年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日 ~ 令和6年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月19日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性に特化した支援体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員は保育士、社会福祉士、教員免許、公認心理師の資格を保有しています。一部の職員は、10年以上障がい児支援に携わっています。 ・質の向上のため、職員研修の機会を月1回以上設け、事例検討等を行っています。また、外部の専門家による年間3回以上のコンサルテーションを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在意識的に行っている取組みを継続して行います。
2	お子さんの発達や理解の状況に応じたスモールステップでの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの発達やニーズを把握し、必要に応じて個別療育と小集団療育を組み合わせた支援を行っています。 ・個別支援計画を元に利用日ごとに支援計画を作成しています。 ・具体的な支援方法や現在の達成度について、担当する職員間で共有し、支援の見直しを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在意識的に行っている取組みを継続して行います。
3	家族支援及び関係機関連携	<ul style="list-style-type: none"> ・療育の参観を推奨し、お子さんの特性や支援方法等をその場で共有できるようにしています。 ・保護者からの個別相談に応じる体制を整え、家庭生活の安定及び地域生活を見据えた助言やアドバイスをしています。 ・関係機関や保護者の要望に応じて、関係機関への訪問、見学の受け入れ、会議への参画等で連携を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在意識的に行っている取組みを継続して行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや児童館との交流や地域の子どもの交流や地域住民との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月あたりの利用日数が2日から4日の方が多く、利用時間が1時間30分以下のため、交流の機会が確保できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代の児童との関わりを想定した活動や支援内容を設定します。 ・お子さんのニーズに合わせて、地域の商業施設を利用します。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		あこおる		公表日		令和7年 3月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法令に遵守したスペースを確保しています。 ・活動内容やご家族の要望に応じて、スペースを柔軟に確保できるようにします。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令で必要とされる配置数に加えて、保育士を1名及び心理担当職員を1名配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・お子さんが活動に集中しやすいように、一人一人に合わせて、棚や机を配置し、必要に応じてパーテーションや個室を使用しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の掃除を徹底しています。 ・お子さんの活動内容に合わせてスペースを柔軟に確保できるようにしています。 ・空調の管理をし、心地よく活動に取り組むことができるように配慮しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・お子さんの状態や要望に応じてスペースを柔軟に確保できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的な職員会議の中で業務について話し合う機会を設けています。職員全員が参加し、実施しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け評価表によるアンケート調査を実施し、業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員向け評価表によるアンケート調査を実施し、業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者評価は行っておらず、保護者と事業者の二者評価を行っています。第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討します。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員研修の機会を月1回以上設け、事例検討等を行っています。 ・外部の専門家による年間3回以上のコンサルテーションを実施し、職員全員が受講しています。 ・県や市が主催する研修会にも積極的に参加しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・放課後等デイサービスのガイドラインに沿って支援プログラムを作成し、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・お子さんの状況に合わせて、標準化されたアセスメントの結果を参考にして、個別支援計画を作成しています。 ・標準化されたアセスメントの他にも、随時、支援に必要なアセスメントを行っています。 ・医療機関等で行った発達検査等も参考にしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・お子さんに関わる担当職員と児発管とで会議を行い、内容を検討しています。 ・モニタリングの際も、担当職員と検討の場を設けています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画の内容について、共通理解するために担当職員と児発管とで会議を開催しています。 ・療育ごとに指導計画を作成し、職員間での支援の共通理解を図っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・お子さんの状況に合わせて、標準化されたアセスメントの結果を参考にして、個別支援計画を作成しています。標準化されたアセスメントの他にも、随時、支援に必要なアセスメントを行っています。また、医療機関等で行った発達検査等も参考にしています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・定期的にアセスメントを行った上で、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・定期的な職員会議の中で活動内容について話し合う機会を設けています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・お子さんの特性や興味・関心に合わせて、活動内容に変化をもたせる内容にしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別療育においては、同時刻に利用されるお子さんと状況に合わせて、ペアでの活動を組み合わせています。 ・小集団療育においては、適宜個別活動を組み合わせています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・個別療育および小集団療育において、担当職員間で支援開始前に支援の内容や役割分担について確認を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・個別療育および小集団療育において、終了後に振り返りを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援の内容に合わせた様式を使用し、記録を行っています。 ・毎回記録を取り、振り返ることで、支援を見直し改善を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・モニタリングの時期に合わせて、見直しを行っています。また、お子さんやご家族のニーズの優先度の変更に合わせて、適宜モニタリングを行い、見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・保護者のニーズおよび本人の発達や生活に合わせて、基本活動を複数組み合わせ提供しています。 ・地域交流の機会を直接提供していませんが、地域での活動を想定した支援内容の提供を行っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動プログラムの中で自己選択する機会を設定した活動を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者、または、担当職員が参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・児童発達支援管理責任者、または、担当職員が連携を行っています。関係機関からの要請に応じて、会議等に参画できる体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・保護者を通じて学校との情報共有を図っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・保護者や関係機関からの要請に応じて、会議等に参画できる体制を整えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・移行のための会議等に参画できる体制を整え、保護者や関係機関からの要請に応じて、適切な職員が参画しています。 ・療育の視察の受け入れ体制を整えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・今年度は行っていませんが、今後必要に応じて児童発達支援センターとの連携を図ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域との交流に関しては、現在は行っていませんが、お子さんのニーズに応じて、地域や実情に合わせた支援を提供しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・福井市自立支援協議会こども部会に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・利用時間中に、本人の特性について共通理解を図っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・利用時間中に、家庭での対応方法等について、お子さんの状況に合わせてアドバイスをしています。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・運営規程、支援の内容、利用者負担等について、初回面談および契約時に説明しています。また、事業所内に運営規定および重要書類を掲示しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・定期的にお子さんや保護者の意向を確認しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・保護者に個別支援計画書を提示しながら、内容について説明し、同意を頂いた上で、署名を頂いています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者のニーズに応じて、適宜相談を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・小集団療育のグループ単位で、職員も間に入りながら、保護者同士の交流と連携を支援しています。 ・利用者全員を対象とする保護者会等については、今後、必要に応じて検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・事業所に受付者、解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・事業所内にイベントの案内、休業日の連絡等を掲示しています。また、弊社ホームページ、SNS、事業所内掲示板等で活動概要等を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・利用者の個人情報を記載した書類は、鍵付き収納棚に保管しています。 ・面談時、必要に応じて相談室を使用します。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子さんや保護者の状況に応じて、図や絵等の視覚的な手がかりを用いたり、端的な言葉で伝えたりするなど、分かりやすく伝えています。 ・お子さんの特性に合わせて、絵カードやタブレット機器による表出を保障しています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・お子さんが通う小学校等の依頼により、活動の様子を公開しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルの内容について、職員研修等により、周知を行っています。 ・各種マニュアルの内容に基づいた訓練を行っています。 ・各種マニュアルを保護者の待機スペース等に置き、自由に閲覧できるようにしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画の策定し、年に1回の研修及び訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・契約時に、お子さんの状況について確認しています。また、支援を行う中でも、適宜確認を行っています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・契約時に、食物アレルギーについて確認しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、職員研修等により、周知を行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・年に3回の避難訓練を小集団療育利用者等に協力いただき実施しています。 ・実施の様子は事業所に写真等で掲示しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例が発生した際には、事例を記録し、職員間で共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・委員会を設置し、マニュアルを策定し、職員研修を行っています。 ・県が主催する研修にも参加しています。 ・コンサルテーションおよび職員間での会議等を通して、適切な支援方法やかかわり方について、日々検討しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・現在、身体拘束を必要とする機会はありません。今後、そのような機会があった際は、事業所内で十分に検討し、お子さんや保護者の了解を得た上で、計画に記載します。

事業所名 あこおる

公表日 令和7年3月21日

利用児童数 39

回収数 34

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	30	4	0	0	・活動にちょうど良い大きさ(広さ)のスペースだ と思います。 ・4,5人だと十分だと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	0	0	1	・サポートして下さる先生がいらっしゃるので助 かります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、発達特性に応じて、情報伝達等への配慮が 適切になされていると思いますか。	33	1	0	0	・活動に集中できる作りになっていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わせ た空間となっていると思いますか。	34	0	0	0	・清潔な空間になっていると思います。	
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	33	0	0	1	・先生方はよく理解してくださっており丁寧な支援が 受けられています。	
	6 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニー ズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計 画が作成されていると思いますか。	34	0	0	0	・ニーズに沿ってくださっています。	
	7 個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラ インの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」 の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す 支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に 設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れていると思いますか。	34	0	0	0	・具体的なので、ニーズに対する目標が分かりやす いです。	
	8 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いま すか。	33	1	0	0	・計画に沿って支援してくださっています。	
	9 利用毎の活動の内容が固定化しないよう工夫され ていると思いますか。	34	0	0	0	・スケジュールがルーティン化しすぎないよう配慮し てくださっている。 ・いつも違った方法、角度から活動内容を決めてく ださっていると思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	10 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	34	0	0	0		
	11 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明が なされましたか。	34	0	0	0	・スタッフの方から声をかけてくださっています。	
	12 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こども の健康や発達の状況について共通理解ができてい ると思いますか。	34	0	0	0	・園や家庭での様子も話し合っている。 ・スタッフの方から声をかけてくださっています。	
	13 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が 行われていますか。	34	0	0	0	・スタッフの方から声をかけてくださっています。 ・定期的に様子を聞いてくださり、その時の対応を 一緒に考えてもらえて助かっています。	
	14 事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	34	0	0	0	・こちら側の思いに沿って支援していただいていると 思います。	
	15 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応 の体制が整備されているとともに、こどもや保護者 に対してそのような場があることについて周知・説 明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	32	1	0	1		
	16 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされていると思いますか。	33	0	0	1	・活動の終わりの振り返りの時間に意思疎通が取 れています。	
	17 定期的にホームページや事業所内掲示板で、活動 概要や休業日の連絡等の情報や業務に関する自 己評価の結果をこどもや保護者に対して発信され ていますか。	32	0	0	2	・情報は十分知ることができています。	
18 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思 いますか。	33	1	0	0	・これまでに困ったことがないので、留意されてい ると思います。		

非常時等の対応	19	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	1	0	0	・マニュアルについては存じ上げていません。すみません。	・契約時やマニュアル更新時、マニュアルについて案内をします。
	20	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	0	0	0	・お便りで避難の様子を知ることができます。	
	21	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	1	0	1	・計画については存じ上げないのですが、安全は確保されていると思います。	・保護者の閲覧しやすい場所に設置し、安全計画の更新に合わせて案内をします。
	22	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	2	0	7	・事故が発生したことが無いので、現在のところは分かりません。 ・まだないので分からない。	
満足度	23	こどもは安心感をもって通所していますか。	30	3	0	1	・不安を訴えることはなく、先生方が優しく指導して下さるので、安心感を持っていると思います。 ・あこおるさんの支援は変わらず素晴らしいですが、子の不安が強い状態のため行き渋ることが多い。個別対応してもらえたり、翌週の具体的な見通しを紙でもらえたりすることで、少しずつ不安が少なくなっています。いつもありがとうございます。	・お子さんが安心して利用できるよう、お子さんや保護者の声に耳を傾け、本人の特性に配慮し、対応します。
	24	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	10	0	0	・スケジュールに入れ忘れていたり、自分であこおるの絵カードをスケジュールに入れるため楽しみにしているように思います。 ・嫌だったことは一度もなく、楽しく取り組んでいると思う。 ・「今日は〇〇あるかな」と楽しみにしています。 ・学校→児童クラブ→あこおるの利用の流れで、自由になる時間がなく、嫌がることが多い。	・魅力ある活動の設定できるようにします。 ・生活全体を通した見直しが必要な場合は、相談支援専門員と連携を図ります。
	25	事業所の支援に満足していますか。	33	0	0	1	・子どもの良いところをたくさん褒めていただき親身になってご指導していただきとても感謝しています(満足です)ありがとうございます。 ・とても満足しています。 ・いつも有難うございます。	